

# 県に対する要望書

平成24年11月15日

茨城県市議会議長会

## 県に対する要望書

件 名	提出市	頁
国道6号日立バイパスの整備促進について	日立市	1
地域医療体制の充実について	日立市	2
主要地方道美浦栄線バイパスの県道八代庄兵衛新田線までの早期整備と県道八代庄兵衛新田線から北側区間延伸の具体化及び県道河内竜ヶ崎線バイパスの整備促進について	龍ヶ崎市	3
国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期着工について	下妻市	4
国道461号の整備促進	常陸太田市	5
国道355号笠間バイパスの整備促進について	笠間市	6
茨城中央工業団地（笠間地区）への企業誘致と都市計画道路の整備促進について	笠間市	7
筑西幹線道路の整備促進について	筑西市	8
県道筑西つくば線バイパスの整備促進について	筑西市	9
国道354号坂東バイパスの整備促進について	坂東市	10
鹿島港への防潮堤（津波対策）の設置に関する要望	神栖市	11
波崎漁港への防潮堤（津波対策）の設置に関する要望	神栖市	12
県道（深芝浜・波崎線）の拡幅整備等の促進に関する要望	神栖市	13
医師確保並びに救急医療体制の充実に関する要望	神栖市	14

## 重点要望事項

- 1 主要地方道美浦栄線バイパスの県道八代庄兵衛新田線までの  
早期整備と県道八代庄兵衛新田線から北側区間延伸の具体化  
及び県道河内竜ヶ崎線バイパスの整備促進について (P 3)
- 2 国道461号の整備促進 (P 5)
- 3 筑西幹線道路の整備促進について (P 8)
- 4 鹿島港への防潮堤（津波対策）の設置に関する要望 (P 11)

(件名)

国道6号日立バイパスの整備促進について

(内容)

東日本大震災による被害は日立市内全域に及び、特に沿岸部においては津波による甚大な被害を受けたことで、災害時の避難手段や防災機能強化の視点に立った道路整備の重要性及び復旧・復興推進に資するための幹線道路整備の必要性を改めて認識したところである。

国道6号は、本市の唯一の主要幹線道路であるとともに、県北臨海地域における南北方向、さらには首都圏と東北地方を結ぶ重要な幹線道路としての役割を担っている。

しかしながら、本市の中心地区や主要な交差点においては、朝夕の交通渋滞は著しく、市民の日常生活のみならず地域の産業活動にも大きな影響を及ぼすとともに、特に東日本大震災発生時には、福島第一原子力発電所周辺からの避難者等の利用なども重なり、十分な整備がなされていない現道では、避難者の移動や支援物資の輸送、応急復旧に大変な支障があった。

現在、海岸部において国道6号日立バイパスの整備事業が進められ、田尻町から河原子町までの計画区間10.5キロメートルのうち、田尻町から旭町までの区間4.7キロメートルが暫定2車線で平成20年3月に供用されている。

さらに旭町から国分町までの3.0キロメートルがⅡ期区間として国において平成24年度に新規事業化されるなど、全線供用に向けて大きく前進したところであるが、現状のままでは災害時に緊急避難道路としての機能を発揮することはもとより、今後の復興推進においても大きな支障となることは明らかである。

については、防災機能の強化及び災害時の避難、さらには直面している復興推進のために不可欠であり、加えて県北臨海地域の交通の円滑化、地域の活性化が期待される国道6号日立バイパス旭町以南の早期完成に向けた計画的かつ着実な整備促進について、国に対し強く働き掛けをされるよう要望する。

提出市：日立市

(件名)

地域医療体制の充実について

(内容)

全国的に医師の不足及び医師の偏在が大きな社会問題となっており、なかでも周産期母子医療・小児医療・救急医療については、従事する医師不足から、その機能を維持することが大変厳しくなっている。

このような中、本市に所在する(株)日立製作所日立総合病院は、長年にわたって日立保健医療圏(日立市・北茨城市・高萩市)における中核医療機関として機能しており、特に公的医療機関を持たない本市にとっては市民病院としての役割を担い、安心安全な市民生活の確保に多大な貢献をしている。

しかしながら、そのような県北地域の中核医療機関である日立総合病院においても医師不足は避けられず、平成21年4月から1年間の産科診療休止を余儀なくされ、茨城県の医療計画で位置付けられている県北地域の地域周産期母子医療センター(中核)の機能も維持できない状況となった。

産科については、この間の茨城県をはじめとする関係機関の御尽力により、幸いにも平成22年4月から診療再開に至ったが、新生児やハイリスク妊産婦に対する専門的な医療を担う周産期母子医療センターの機能は依然として休止したままである。

このことは、本市をはじめとする県北地域にとって喫緊の課題であり、地域の活力の低下を招き、ひいては、まちづくりにも大きな影響を及ぼすことは必至である。

よって、茨城県においては、日立総合病院において新生児やハイリスク妊産婦に必要な周産期母子医療体制を早急に整えることについて、引き続きご支援くださるよう強く要望するものである。

また、日立総合病院において本年10月から救命救急センターが稼働することに伴い、周産期母子医療センターとしての最新の設備が整うことから、産婦人科及び小児科医師の確保について、特段の御配慮をいただくよう重ねて要望する。

提出市：日立市

(件名)

主要地方道美浦栄線バイパスの県道八代庄兵衛新田線までの早期整備と県道八代庄兵衛新田線から北側区間延伸の具体化及び県道河内竜ヶ崎線バイパスの整備促進について

(内容)

主要地方道美浦栄線バイパスは、千葉・茨城両県の連絡性を高める重要な路線であるとともに、県南地域を南北方向に結び都市活動や地域交流を支える重要な広域交通軸であります。

現在、当バイパスは、国道356号線から有料道路部の若草大橋を含む県道取手東線までの1.7Kmが平成18年4月に開通し、さらに優先整備区間として整備が進められた美浦栄線の現道から主要地方道竜ヶ崎潮来線までの3.1Kmの区間については、平成23年11月22日に開通したことから、本市の新たな主要道路として多くの利用がなされているところであります。

また、首都圏中央自動車道については、現在、稲敷インターチェンジから千葉県境の整備が進められており、そのアクセス確保は整備効果を一層高めるとともに、本市はもとより稲敷地域の発展基盤を更に強化していく上で不可欠なものであります。

つきましては、広域交通ネットワークを活かした地域交流や振興など、本市を含めた県際連携都市郡の都市機能強化、首都圏中央連絡自動車道へのアクセス性や若草大橋の整備効果を更に高めていくため、県道八代庄兵衛新田線までの整備促進と県道八代庄兵衛新田線から北側区間延伸の具体化、併せて、そのアクセス性を高める県道河内竜ヶ崎線バイパスの更なる整備促進を要望いたします。

提出市：龍ヶ崎市

(件 名)

国道 125 号（下妻・八千代バイパス）の早期着工について

(内 容)

筑波研究学園都市と国道 4 号バイパスなどを結ぶ国道 125 号は、大型車の占める割合が多いことから、日増しにバイパス化の要望が高まっている。

交通安全対策及び円滑な広域ネットワークを構築するためにも国道 125 号（下妻・八千代バイパス）の早期着工を要望する。

提出市：下妻市

(件名)

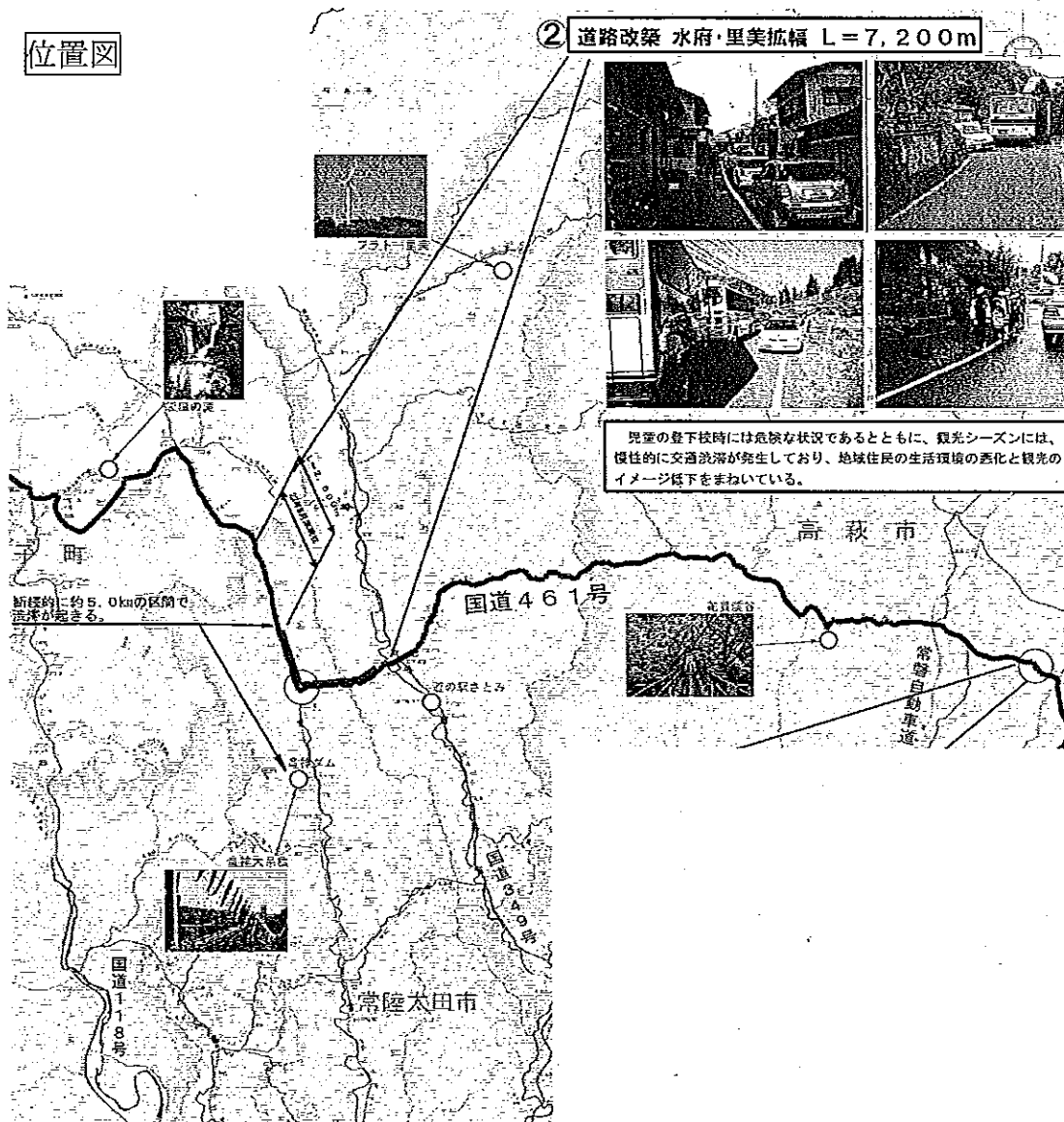
国道461号の整備促進

(内容)

国道461号は、水府地区を南北に連絡する主要幹線道路であり、竜神大吊橋や西山荘など常陸太田市の主要な観光施設へのアクセス道路としても重要な路線であります。現況は幅員が狭く自動車のすれ違いが困難なことから、日常生活はもちろんのこと、行楽シーズンには渋滞を引き起こすなど、安全な交通に大変支障をきたしており、早急な整備が求められています。

これまで、関係機関のご配慮により、平成13年度から国道改築事業として事業を実施されており、既に一部が開通するなど事業が進んでおりますが、今後もより一層の整備促進を強く要望いたします。

位置図



提出市：常陸太田市



(件名)

国道 355 号笠間バイパスの整備促進について

(内容)

本路線は、笠間市から石岡市を經由し千葉香取市に至る広域幹線道路であるため物流を担う大型車の交通量も多く、また区間内には常磐自動車道岩間 I C、更に北関東自動車道の全線開通に伴い友部 I Cからの交通量も増加している状況にあります。このため、笠間地区の市街地では、交通渋滞を引き起こし市民生活にも不便をきたしていることから渋滞の解消を図るため、市街地を迂回する笠間バイパスの早期完成を要望いたします。

提出市：笠間市

(件名)

茨城中央工業団地（笠間地区）への企業誘致と都市計画道路の整備促進について

(内容)

茨城中央工業団地（笠間地区）は、常磐自動車道、北関東自動車等の交通網を活用する広域的な複合産業団地として都市計画決定されています。

平成21年度から先行分譲予定地（18ha）の整備事業として、調整池及び枝折川河川改修並びに立木の伐採等が進み粗造成が平成24年度に完了となります。

つきましては、先行分譲予定地への早期の企業誘致を要望いたします。

また、残る分譲予定地と都市計画道路として決定している主要地方道石岡城里線バイパス、流通センター東西線が未整備のため、早期整備を要望いたします。

提出市：笠間市

(件 名)

筑西幹線道路の整備促進について

(内 容)

筑西幹線道路は、「県土60分構想」を実現するための4車線の広域基幹道路として計画されており、古河市を中心とする広域的な都市圏と筑西市・結城市など筑西地方の拠点都市を結ぶとともに、北関東自動車道とも桜川筑西ICで連絡し、水戸市を中心とする県央地域との交流を促進する重要な道路として位置づけられています。

筑西市区間においては、鬼怒川や小貝川による県西地域の分断を解消するため、新たな橋梁の整備促進をはじめ、国道50号協和バイパスから県道筑西三和線(仮称)鬼怒川新橋までのルート未決定区間の早期決定を要望します。

提出市：筑西市

(件名)

県道筑西つくば線バイパスの整備促進について

(内容)

県道筑西つくば線は、県西地方拠点の中心都市である筑西市と、業務都市であるつくば市を連絡する幹線道路であります。

県道筑西つくば線バイパスは、国道125号つくばバイパスに接続するつくば市中菅間地内までの800mが、平成22年11月に開通していますが、中菅間地内から筑西市に向かうバイパスの事業化がなされていない状況です。

現在、優良企業誘致による雇用機会確保を図るため、つくば明野北部工業団地の整備を促進しているところであり、工業団地へのアクセス道路として、併せて、つくば市及びつくばエクスプレス駅への移動時間短縮の利便性確保のためにも早期の事業化を要望します。

提出市：筑西市

(件名)

国道354号坂東バイパスの整備促進について

(内容)

国道354号坂東バイパスは、都市計画道路大口上出島線として、平成3年12月に都市計画決定された当市を横断する主要幹線道路であり、平成17年2月4日には、県道土浦坂東線から常総市方面までは供用開始されました。これにより、当該路線は約4kmの整備を残すところとなりましたが、広域的産業拠点である「つくばハイテクパークいわい」から常磐自動車道及び首都圏中央連絡自動車道へのアクセス道路としても極めて重要な路線であり、早急に整備する必要があります。

提出市：坂東市

(件名)

鹿島港への防潮堤（津波対策）の設置に関する要望

(内容)

本市は、太平洋と利根川に挟まれた平坦地にあり、重要港湾である鹿島港を中核として鹿島臨海工業地帯が整備され、石油化学・鉄鋼・電気・飼料等、広域的な供給拠点として、極めて重要な役割を担っておるところであります。

このような中、昨年3月に発生した未曾有の大震災によって引き起こされた大津波により、鹿島港の航路周辺に林立する企業等の専用バースや一部プラントなどが倒壊し、また、南北の公共埠頭を一気にかけてあがり、国の重要文化財住宅や人家・店舗・事務所への浸水、更には、自動車や貨物輸送用のコンテナの漂流、農業用貯水池（45ha）へ流入するなど、甚大な被害を受けたところでもあります。

つきましては、このような大被害を繰り返すことのないよう、一日も早く防潮堤の設置をしていただきたく要望いたします。

提出市：神栖市

(件名)

波崎漁港への防潮堤（津波対策）の設置に関する要望

(内容)

本市は、太平洋と利根川に挟まれた平坦地にあり、利根川河口には、全国でも有数の水揚げと水産加工の生産量を誇る波崎漁港を配しておるところでございます。

このような中、昨年3月に発生した未曾有の大震災によって引き起こされた大津波は、波崎漁港に押し寄せ係留していた、大型まき網船や小型船が沈没や座礁、岸壁の陥没などの甚大な被害を受けております。

つきましては、このような被害をなくすため、一日も早く防潮堤の設置をしていただきたく要望いたします。

提出市：神栖市

(件名)

県道（深芝浜・波崎線）の拡幅整備等の促進に関する要望

(内容)

本県道（深芝浜・波崎線）は、市中央部を横断する国道124号を基軸に、鹿島臨海工業地帯から銚子大橋に接続される本市の主要幹線道路として位置づけられておりますが、拡幅整備など遅々として進んでいない状況にあります。

つきましては、朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や歩行者の安全確保のため、拡幅整備計画区間の延伸を図るとともに、早急に整備されることを強く要望いたします。

提出市：神栖市



(件名)

医師確保並びに救急医療体制の充実に関する要望

(内容)

鹿行南部地区の二次救急医療体制は4病院（神栖市内3・鹿嶋市内1）の中核病院が対応しているが、各病院とも医師確保が深刻化している。診療科目の縮小や休止の状況にあり、入院や外来診療さらには救急搬送先の確保に時間を費やし、救急医療に支障をきたしています。

つきましては、このような医療環境を十分把握のうえ保健医療計画を策定し、保健医療体制の充実に努めている茨城県が主体となって、地域医療を担う二次救急医療機関の機能強化を図っていただきたく要望いたします。

提出市：神栖市